

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作り上げており、玄関・職員トイレ内に掲示している	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議、ミーティング時等で常に話し合いを持ち、理念を共有できるよう日々取り組んでおり、実践のアイデアがある時は実践に向け取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	御家族の方には契約時や家族会時に説明を行い、又、発行している新聞に理念を掲載し理解していただいている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日のように近所の神社に散歩しており、その際挨拶したり、雑談したり気軽に声を掛けあっている。又神社のお参りのお礼に時折差し入れをしていただくこともある	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会や老人会等、地域での行事には、差し入れや寄付をさせていただいている。また、あいの里の夏祭りでは地域の太鼓の会や演芸等上演していただいております。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議時に民生委員や包括支援センター等から情報交換を行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義・目的を職員に説明をし理解してもらい自己評価においても全員で話し合っている。評価後は改善すべき点を話し合い改善に取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で状況報告や話し合いを行い、意見を求めサービスの向上に努めている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の研修や勉強会等に参加しサービスの向上に努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度については勉強会を行っており、必要な人には活用できるように支援していきたいと思っている。又、玄関にはそれらのパンフレットを常時準備している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行ったり、研修に参加する事で虐待防止について理解を深め、見過ごされないように努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	疑問点・不安なこと・わからないことについては説明時間を十分に費やし理解・納得していただけるように努めている。又、後日に疑問点などが生じたときも十分に説明するようにしている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員が月一回来園され御利用者の相談に乗っていただいている。また普段の会話の中や職員とのやり取りの中で、聞いた事に耳を傾けるようにしている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	御家族の面会時に状況報告を行い、面会が少ない御家族に関しては電話にて状況報告を行っている。又利用者の状態変化がある時等もその都度報告をしている。金銭管理については個別に出納書を作成し、説明を行い定期的に確認のサインを頂いている。職員の異動・御利用者の暮らしぶりは年4回新聞を発行し報告している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の苦情や不満等については、その都度対応している。又意見箱を玄関に設置し、意見等がある時には記入・投函して頂き皆で話し合い運営に反映している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティングで職員の意見や提案を聞いている。管理者で判断できないときは運営者などの上司に報告、相談して反映させている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟に対応するように職員と話し合い勤務の調整等を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職により御利用者が不安にならないように声かけ等に十分気をつけるようにしている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用はすべて本部に一任している。又、他の職員も本人が得意とすることを発揮できるように配慮している。採用に関しては年齢・性別で採用対象から排除されることはない		
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者の人権を尊重できるよう対応の仕方や言葉使いについて、常に気をつけるよう指導している		
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修・GH合同勉強会(2ヶ月に1回)を開催している。その際外部の研修に参加した職員は報告も行っている。施設外研修は段階に応じて参加している。又、資格取得希望者には法人において勉強会を開催している		
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修・勉強会・グループホーム部会等で交流を持ち、情報の交換を行っている		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人内やあいの里の親睦会等で気分転換を図り、リフレッシュしている。また、休みの希望などを出来る限り取り入れストレスを溜めないようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人ひとりが向上心を持ち自己アピールが出来るように年二回自己評価を行っている。運営者・管理者は評価を正に行い、給与に反映している。資格取得者は資格手当に反映している		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には面談を行い、本人の要望や不安なこと、求めている事等よく聞き受け止める努力している		
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時には家族から話をよく聴き、入居前にも面接を行い、家族の望み・不安要素等聴く機会を作っている		
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族から情報収集し、その中から必要性を見極め他のサービスの必要が適当だと思われた時は、説明を行い紹介をしている		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に事前に来ていただいたり、体験入所を行い雰囲気に慣れて頂きたいことを伝える。又、御家族が心配な時は一緒に宿泊も出来ることを伝える		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	花や野菜の育て方や、調理方法を教えて頂いたり、手伝ってもらっている。また日頃から人生の先輩として色々なことをアドバイスしていただき、一緒に支えあう関係作りを行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族に本人の状況等を報告する中で、喜怒哀楽を共にし、御家族と共に本人を支えあっている		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時など、本人と御家族がゆっくりと過ごせる時間を大切にし、よりよい関係が築けるように支援している		
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの行きつけの病院や美容室に行けるように支援している		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	トラブルにならないよう座席場所にも気を配り、楽しく過ごしていただけるよう支援している。又孤立しないよう職員が寄り添い利用者同士の会話に耳を傾け、良い関係作りが出来るように支援している		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設への入所や入院されたりした時は、お見舞いや様子を伺い関係を断ち切らないつきあいをさせて頂いている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの気持ちを大切にし、日常の会話の中にも気を配り本人本位に検討している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話の中や質問で本人の生活歴等を聞き、情報を得られない場合は、御家族より情報を得るように努めている		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身の状態は日々の記録や申し送り等、アセスメントを用いて把握するよう努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人より要望や希望していることを聞いたり、相談しながら職員で話し合い介護計画を立案、作成している		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて本人の状態を把握しながら見直し、対応できない変化が生じた時は、本人の状態をミーティングや会議等で話し合い、現状に即した介護計画を作成している		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアチェック表にて実践の有無の記入や気づき等を記入し介護計画の実践や見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	宿泊希望がある時は宿泊用の部屋もあり布団も用意されている。又ご利用者と同室に宿泊される事もできるようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
	○地域資源との協働			
42	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性に応じてボランティア等の協力を得て支援している		
	○他のサービスの活用支援			
43	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理容・訪問歯科を受け入れ、本人の必要に応じて利用することが出来ている。又、併設している同事業所へ慰問がある時は参加させてもらったり、ミニディや夏祭り・文化祭などへの参加の支援を行っている		
	○地域包括支援センターとの協働			
44	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の中で必要に応じ利用者の情報を共有し協働している		
	○かかりつけ医の受診支援			
45	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・御家族が希望されるかかりつけ医に受診していただき、適切な医療が受けれるよう情報の提供を行い支援している		
	○認知症の専門医等の受診支援			
46	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて職員が付き添いを行ったり、かかりつけ医に十分な情報が伝わるように職員・看護師にて連絡ノートに記入し適切な治療が受けれるよう支援している		
	○看護職との協働			
47	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師とは、日常の御利用者の状態を相談しながら健康管理や医療との連携を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に病院へお見舞いに行き、病院・家族と本人の状態を把握をする為、連絡確認を行っている。お見舞いの際は早く元気になってもらえるように励ましの色紙を贈る等、利用者とのコミュニケーションを図り、安心して過ごしてもらえるよう努めている		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期を迎えられた場合、本人に一番いいと思われる方法を御家族、かかりつけ医、職員とよく話し合い、決めるようにしており、看取りの支援も行っている		
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所として「出来る事・出来ない事」をよく見極めて利用者が、一番安心して過ごせるよう検討し支援している		
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人へのダメージを最小限にとどめ、今までの暮らしがなるべく継続でき、また支援者が戸惑われないように必要な情報を関係者に提供している		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎年一回接遇マナーを法人内合同で研修を開催している。一人ひとりに合った言葉使いや声かけの重要性を学び、誇りやプライバシーを大切にしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望・気持ちを聞きやすいように個別に尋ねたり、どちらがいいか問いかけ等を行い、自分で決められるよう本人の気持ちを大切にして、出来る限り実行している。		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者のペースを大切にし急がせることなく生活できるように希望にそって支援している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容は訪問サービスに来ていただいている。行きつけの理容店などを希望される方は家族と協力しながら支援している		
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備・後片付けは御利用者と職員が一緒になって行っている。野菜の差し入れがある時等は利用者に調理して頂くこともあり、一人ひとりの好みや力を活かすように努めている		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が希望されるものは把握し提供できるよう支援している		
58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	本人の状態や排泄パターンを把握し一人ひとりに合わせた排泄の援助を行っている。又、なるべくオムツや紙パンツを使用せず、気持ちよく排泄出来る様にトイレでの排泄を支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日夕方～夕食後まで行っている。入浴時間は本人に毎日尋ね、入りたい時に入ってもらえるようにしている。タイミングにより順番を入れ替え柔軟に行っている。又菖蒲湯やゆず湯等で、季節の香りが楽しめるような入浴も行っている		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の状態や一人ひとりの生活習慣を大切に、入眠や休息をして頂いている。又、安心して夜間休めるように飲み物の提供や眠れない利用者には寄り添い話を聞き、安心して気持ちよく眠れるよう支援している		
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの持っている力を發揮してもらい家事や掃除を手伝って頂いただき、本人の趣味や生活歴を把握し色々な作品作りや園芸を行って頂いている。月2回の療育音楽では、唄ったり楽器演奏をすることで、ストレス発散や気晴らしの支援を行っている。又くもん学習療法も楽しみにされており、心身に心地よい刺激となっている		
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望される方はお金を所持されており、買い物に行く時は自分で支払っていただくように支援している。又、自分で管理が難しい利用者は金庫に預かり事務所で管理しており、外出時は職員がお金を預かり本人に支払いをしていただけるよう支援している。持っていないと不安になる方は家族の了解を得て少額を持っていたき職員で時々確認を行っている		
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は希望者とはほぼ毎日出かけている。買い物も職員と一緒に出掛けている		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じて外出行事やドライブを兼ねた外食等行い、普段は行けないような所へ出かけている。また、個別に希望される時には、外出できるように支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所にて自由に電話をすることができるようにしている。又場合によっては職員が代わりに電話をし、本人と話していただくこともある。字を書ける方は毎年年賀状を書いてもらったり、手紙のやり取りもできるよう支援している		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問していただいている。面会の時間を大切にしてゆっくりと過ごしていただけるようにしている		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	正しく理解できるように毎年法人内にて勉強会を開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は施錠していないが、出入り等がある時はセンサーが作動するようになっており、職員は常に気を配り見守りを行っている		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	単独外出の恐れがある方は、所在確認をこまめに行うようにしている。夜間は1時間おきに巡回し、転倒の危険性がある方や、不定時のトイレ誘導が必要とされている方には、センサーマットや鈴を居室ドアにつけ、すぐ対応できるように安全に配慮している		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者一人ひとりの状態の応じて危険な物や危険な事を把握し、取り除いたり見守ったりして危険を防ぐようにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書やヒヤリハットを見直し、事故につながらないように検討している。又、状態の変化が見られるような時は毎日のミーティングや会議時に対応の変更を話し合い事故防止に努めている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に一度マニュアルの見直し・作成をしており、それに添って勉強会を行っている		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年避難訓練を2回行っている。又、火災等の災害時は地域の方に協力を要請している		
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	起こり得るリスクに関して家族に説明し理解を求めている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝をバイタルチェック行い、体調の変化や異変に気づいた時には看護師に相談したり、主治医に連絡を取り対応している。又、夜勤者への引継ぎも必ず行い必要に応じて夜間帯もバイタルチェックを行い、速やかに対応している		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の管理は看護師が行っているが、介護職員も利用者が内服している薬は把握し、服薬の支援、症状の変化の確認に努めている。内服薬の処方箋は個別にファイルを作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操や散歩など適度な運動を行い水分補給や果物・乳製品などを食べていただくようにしている。又、御利用者の好まれる飲み物も把握し提供できるようにしている		
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きを行ってもらうように声かけを行っている。自分で出来ない方・不十分な方には出来ない部分を支援している		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎食後チェック表に記入し、状態を観察している。特に水分摂取量の足りない方は十分に注意し必要に応じて一日の摂取量の把握にも努めている		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており、勉強会にも参加している。利用者には日頃から、外出後の手洗い、うがいの声かけを行い予防に努めている。インフルエンザ等の流行期には利用者に感染しないように職員全員マスクの使用を義務付けている。また、面会者には玄関入り口に注意書きをし、マスクと消毒液を設置し、使用して頂き予防している		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理は委託業者に行っている為十分に配慮されている。またホーム内で調理を行う際は調理用の消毒スプレーを使用している。買い物の際は賞味期限に気をつけ購入している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物は和風作りで落ち着いており、玄関や庭には季節に合わせた花や野菜などがあり親しみやすくしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内に陽射しが入りすぎないように工夫している。季節感のある花や飾り物を置いたり、その月ごとの行事等を掲示したり居心地よく過ごせるようにしている		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが自分の思いで過ごしていただけるようにしている。テラスへ出て花を眺めたり、気の合う人同士ソファで談話されたりテレビを見たりされている。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前より使用していた馴染みのある家具を使用していたり、家族と相談して孫やひ孫の写真や家族の写真など本人の好む物等、使い慣れた物を持参して頂き居心地よく生活できるよう支援している		
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどろみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	必要に応じてこまめに換気を行っている。温度や湿度調節も御利用者を中心としてこまめに行っている。又個人差があるので衣類の調節にも気を配っている。加湿器、除湿機を使用し快適に過ごせるよう配慮している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーで出来ている。廊下の手すりを使用したりシルバーカーを使用しできるだけ自立した生活を送ってもらえるよう支援している		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自分の居室やトイレが分かりやすいように大きく表示したり、見やすいところにカレンダーを貼ったりしている。また、個人の持ち物には名前シールを使用し混乱や失敗を防ぐ工夫をしている		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ご利用者はテラスや中庭へ自由に出入りすることができ、日光浴や季節の花を鑑賞することができる。また、庭の花に水をやったり、職員と一緒に庭いじりや草むしりなどを行い利用者の楽しみとなっている		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

福岡県 グループホーム あいの里

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

[特に力を入れている点・アピールしたい点]

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

御利用者の皆様が今を大切に、毎日楽しく生活できるように支援しています。皆様の希望することなど季節に合わせた行事を行い一緒に生活する喜びや楽しみを職員も共にし日々過ごしています。また、毎日のように散歩に出かけたり、体操を行い筋力維持に努めています。昨年より始めた療育音楽では心身に心地よい刺激と気晴らしになり、皆様と一緒に楽器を演奏したり歌を唄ったりすることで精神的にストレス発散することができています。あいの里で植えた野菜等は一緒に収穫し、食事の一品につけ加えたりつけもの作りを行っています。食事は業者に委託している為、食事作りで時間をとられることなく皆様にゆっくりと寄り添える時間が取れています。食事の準備や後片付けの際は皆様に手伝って頂き、皆様の希望する食事がある時は栄養士と相談したり、希望食の日を作り、皆様と一緒に調理する時間を設けています。くもん学習療法（一部の利用者）も順調に進んでおり、参加されている方たちは、学習の時間をとても楽しみに待っています。